

[WINSTAR CAD Ver.12]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

[参考] 新設コマンド:35、 拡張、機能強化コマンド:7

【ファイル】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
WINSTARCAD デュアル起動	2つめのWINSTAR CADを起動します。 同じ図面をそれぞれで開いていた場合、先に保存した側がファイルに対して権限を持ちます。	◎

【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
グループ化	グループ化する対象要素を指定する際に、指定済みの要素を対象から除外できるようになりました。	○
グループ確認	すでにグループ化されている図形から要素を除外できるようになりました。	○
マルチコピー	複写対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら複写します。	◎
マルチムーブ	移動対象要素を複数回にわたって指定でき、仮表示をしながら移動します。	◎

【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
ツールバー	直前の定義状態へ戻すことができるようになりました。	○
ツールアイコンの サイズ設定	ツールアイコンのサイズを4つのサイズから選択します。 高精細モニターを使用する際にアイコンが小さすぎる場合に選択します。	◎

【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
直線	データから連続線	作図済みの直線からペン・線種・レイヤを取得し同属性の連続線を作図します。	◎
	データから単直線	作図済みの直線からペン・線種・レイヤを取得し同属性の直線を作図します。	◎
文字	データから文字入力	作図済みの文字からペン・レイヤ・高さ・幅・間隔・斜体角度・縦横・フォント情報を取得し同じ属性を保持して、[文字入力]コマンドへ進みます。	◎
	データから 拡張文字入力	作図済みの文字のペン・レイヤ・高さ・幅・間隔・斜体角度・縦横・フォント情報を取得し同じ属性を保持して、[拡張文字入力]コマンドへ進みます。	◎
	データから フォント変更	作図済みの文字のフォント情報を取得し同じフォントを保持して、[フォント変更]コマンドへ進みます。	◎
	文字一括編集	英数文字だけ全角に変換することができるようになりました。	○
	文字の仮想枠	文字入力のため仮想の四角枠を補助線で作図します。 シンボルに対しても有効です。	◎
	仮想枠に文字入力	文字の仮想枠に文字列を均等揃えて文字を作図できます。 均等揃え以外を指定した場合は、文字高さを保持して文字を作図します。 シンボルに対しても有効です。	◎

【寸法】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
指示線	穴径深さ引出寸法線	穴の径と深さを指示する引き出し寸法線を作図します。 改正JIS製図穴深さ記号対応	◎
	穴径ざぐり 引出寸法線	穴の径と座ぐり深さを指示する引き出し寸法線を作図します。 改正JIS製図座ぐり記号対応	◎
	穴径皿ざぐり 引出寸法線	穴の径と皿座ぐりを指示する引き出し寸法線を作図します。 改正JIS製図皿座ぐり記号対応	◎
寸法線	2点の指定寸法線	指定された2点間に寸法線をセットし、内矢外矢、寸法値の位置が指定できます。	◎
	2要素間隔寸法線	平行線、または同心円の間隔寸法線を作図します。	◎
引き出し寸法線	要素平行引出寸法線	[円弧要素引出寸法線][円弧要素平行引出寸法線]に機能を集約するため直線のみを対象とします。	○
	円弧要素引出寸法線	弧長を示す引き出し寸法線を作図します。円弧の弦に対して直角に寸法補助線を引きます。改正JIS製図の寸法数値の前に円弧の長さ記号を付けるタイプに対応	○
	円弧要素平行 引出寸法線	弧長を示す引き出し寸法線を作図します。円弧の中心から放射状に寸法補助線を引きます。改正JIS製図の寸法数値の前に円弧の長さ記号を付けるタイプに対応	◎

【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層 1	階層 2	新設、機能拡張内容	区分
複写	複数指定複写	複写の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
移動	複数指定移動	移動の対象要素を、複数回に分けて指定できます。	◎
拡大詳細図	—————	詳細図用に拡大する対象を、円形に取り出します。	◎
画像	画像を奥に移動	画像やペイント図形を奥に移動し他の要素を重ねた状態に変更します。	◎
	画像を手前に移動	画像やペイント図形を手前に移動し他の要素の上に重ねた状態に変更します。	◎
図面間複写移動	図面間複写元指定	図面間複写したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間複写元 複数指定	図面間複写したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元指定	図面間移動したい対象を1回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間移動元 複数指定	図面間移動したい対象を複数回の範囲枠指定で指定します。	◎
	図面間データセット (実寸)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元の寸法のままセットします。	◎
	図面間データセット (縮尺)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の縮尺値を計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎
	図面間データセット (用紙)	図面間複写・移動の各コマンドで指定された対象要素を、元図と複写・移動先図面の用紙サイズを計算し拡大縮小して見た目が同じになるようにセットします。	◎

【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
データから寸法値を設定	作図済みの寸法線の寸法値から、寸法線の寸法数値に関する設定を取得し[設定]-[寸法線]コマンドへ進みます。	◎
データから文字フォントを設定	作図済みの文字のフォント情報を取得し同じフォントを保持して、[設定]-[文字フォント]コマンドへ進みます。	◎
その他	以下の項目が追加されています。レイヤ管理画面の表示倍率	○
文字の表示・入力時の設定	文字の画面表示や入力時の各種の設定をします。フォント表示の平準化、寸法値を半角文字でセット、「.」,「.」,「.」,「.」の字詰め、文字の簡略表示、IME自動起動のON/OFF	◎
ストロークフォントエディタ	標準ストロークフォント文字の修正や作成ができるユーティリティを起動します。	◎
標準ストロークフォントの差替	複数のストロークフォントの差し替え機能。	◎
[エーティ]フォントインストール	添付してあるユニコード対応の日本語・簡体字・繁体字・韓国語フォントをインストールします。	◎

【その他】

項目	機能内容
DWG、DXFファイル	さらに、コンバートの精度を向上させました。
デュアルモニター対応	デュアルモニター環境に対応し、最大2つのWINSTAR CADを起動できます。
高精細モニター対応	解像度の高いモニターでも快適な作図環境を作れるように4つのサイズのアイコンを用意しました。
フォント名表示	現在選択されているフォント名をツールバーに表示できるようになりました。
標準ストロークフォントの縦書き対応	標準ストロークフォントを指定している場合でも、縦書きの長音記号やカッコ、促音などがバランスよく配置できるようになりました。
寸法数値の半角入力	寸法値の文字を半角でセットできるようになりました。
寸法値	「CR、Sφ、SR」などの文字の追加に対応しました。
画面表示の高速化	編集メニューで図形を仮表示する際の表示スピードを高速化しました
画面描画	画面描画の手法を見直し、各所で応答の高速化を計りました。